

研究課題名	足関節骨折術後の二次性変形性足関節症になるリスクファクターの検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 整形外科
研究責任者	所属 整形外科 氏名 足達信哉/木場健/小久保吉恭
研究期間	(西暦) 当院臨床研究倫理審査委員会承認後～2021年3月
研究の意義・目的	<p>足関節骨折は若手整形外科医が外傷の手術を担当することが多く、手術では腓骨の短縮解除、整復が重要と言われている、術後1年で骨内異物除去術（抜釘）も担当することが多いが、その患者さんの5.10年後の足関節の状態を知ることは少ない。</p> <p>一方、足の外科医は、若い時の繰り返す捻挫（おそらく足関節外側靭帯（前距腓靭帯））のなれの果て、足関節骨折後の二次性足関節症の患者さんが足部痛を主訴に来院され、手術（遠位骨切り術、人工足関節置換術）を担当する。</p> <p>当院で足関節術後1～8年後の患者さんの足関節の状態を知ること、経過不良の患者さんの手術を振り返り、初回手術の際に気をつけること（腓骨の整復+内果の整復など）を検討すること</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>2012年1月から2019年12月の期間において、当院で手術をうけた患者、159人が対象、腓骨に加え、内果、後果も固定した患者を選び、電話連絡、術後の経過フォローのお願いで受診して頂き、立位足関節単純X線正面（高倉・田中分類）、側面を撮像、外来診察でJSSF（歩行能力、可動域など）に加え、SAFE-Q（患者満足度）を診療のために受診して頂き、評価する。X線やJSSF,SAFE-Qで成績不良の患者さんには5年後、足達外来受診を促し再評価の予定とする。費用は医療保険で行う。</p>
<p>①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)</p> <p>②利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>①②この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療録より、年齢、性別、受傷機転、肢位、受診形態（救急、walk in、紹介）、既往、抗凝固薬の内服、多発外傷の有無、手術までの待機期間、手術内容、手術時間、後療法、合併症（神経損傷、創部感染など）、骨癒合、抜釘の有無、画像所見のデータを収集して行う研究です。</p> <p>③当院研究事務局所属者 足達信哉、木場健、小久保吉恭、山崎隆志</p> <p>④武蔵野赤十字病院 整形外科 足達信哉</p>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ

問合せ先

〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1

武蔵野赤十字病院

所属 整形外科

氏名 足達 信哉

TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525